

令和6年度第1回埼玉県小児医療部会 会議録

- ◆日 時 令和6年7月16日（火）
18時30分～20時00分
- ◆場 所 埼玉会館6C会議室
(ハイブリッド)
- ◆出席者 別添名簿のとおり委員15名

1 概要

報告1 第8次埼玉県地域保健医療計画について

令和6年4月を始期とする、第8次埼玉県地域保健医療計画の取組等について報告。

➤主な意見

- ・医療的ケア児への対応推進については、今後教育部門や福祉部門、二次医療機関等との連携が重要である。
- ・災害時等における小児及び小児患者への対応推進では、福祉的な配慮が必要な方のための福祉避難所の多様化の検討なども必要と考える。
- ・一般小児科の小児救急に対する底上げが必要。*NCPRやPALSの研修実施と、県にはそれらの研修への補助を検討してほしい。

*NCPR…新生児蘇生法

PALS（パルス）…小児二次救命処置法

議事1 小児救急医療体制について

第8次埼玉県地域保健医療計画で掲げる指標、「小児救急搬送で4回以上の受入照会を行った割合 目標値 2.0%」達成に向けた取組について検討。

[今後の対応案]

- ①小児救急搬送患者の受入れの通知を発出
- ②東部南地区にて小児輪番病院の会議を実施し、課題の共有や意見交換を行う

➤主な意見

- ・けいれん重積などの症例は、まず近くの病院で受け入れて、対応が困難な場合は、小児救命救急センターで受け入れるようなシステムを作してほしい。

- ・ 輪番病院でもその日の当直状況により受け入れられないという場合もある。輪番病院での話合いの場を設けたいと考えていたため、県主導で場を設けてもらい良い方向にもっていければいい。
- ・ どの病院も常時小児の外科系疾患を診れる状態にない。外科系疾患については圏域内だけでの体制は難しい。県からの通知に外科系疾患も診るようという内容を含めてほしい。
- ・ 単純骨折などは各輪番病院で対応できる体制を考えてほしい。輪番の中で小児の骨折が診れる病院を特定しておくなどの体制が必要ではないか。
- ・ 東部南医療圏には小児は多いが小児の入院病床がない市もある。圏域ごとの小児の数とそれに対する病床数がどうなっているのかの情報が必要。
- ・ 県には県内の小児病床の状況、どの地域に課題があるか等の調査をしてほしい。

その他 小児科医会等3団体との意見交換会について

令和6年2月及び5月に開催された小児科医会等3団体との意見交換開催の概要について報告。